

中学部 第1学年 成果報告書

令和3年6月29日(火) 2校時
 6月30日(水) 4校時
 サンホセ校 中学部1年1名
 指導者 宮本 豪
 アグアス校 中学部1年5名
 指導者 勝島 恵利

1 教科 単元名

国語 伝えよう 「話の構成を工夫しよう」

2 単元の目標 評価の観点

- ・テーマ「自分の好きなもの」について、聞き手にわかりやすく伝えるための構成を工夫する。
- ・スピーチ会を開き、どのような話し方や聞き方が大切なのかを考える。

3 指導観

(1) 教材観

話すことと聞くこと同時に評価するため、ルーブリックを作成し、目指す姿を明確にして学習を進めることができる。

合同の「スピーチ会」を開いて好きなものについて伝え合い、聞き手を巻き込む話し方や適切な聞き方を実践する場をつくることができる。

(2) 児童・生徒の実態

両校の生徒に共通して、話したり聞いたりすることに自身がなく、どのようにすればうまく話せるのか、聞き取れるのかについて理解が浅い。一方で、話が聞いてみたいという意欲は高く、自分以外の同級生が考えていることについて関心を示している。同級生同士で、スピーチし合い、聞き合うことで、どんな方法があるのかを考えるきっかけになるのではないかと推察する。

4 指導計画(全4時間)

主な学習内容及び学習活動

- (1次) 単元について知る。題材を決める。マッピングで話題を広げる。
- (2次) スピーチの構成を考える。はじめ、なか、おわりの内容を考える。
- (3次) 話し方の工夫について知る。聞き方の良い例について考える。ルーブリック作成。←前時
- (4次) 合同の「スピーチ会」グーグルフォームによるふりかえりとお互いの評価をする。←本時

5 本時

(1) 目標

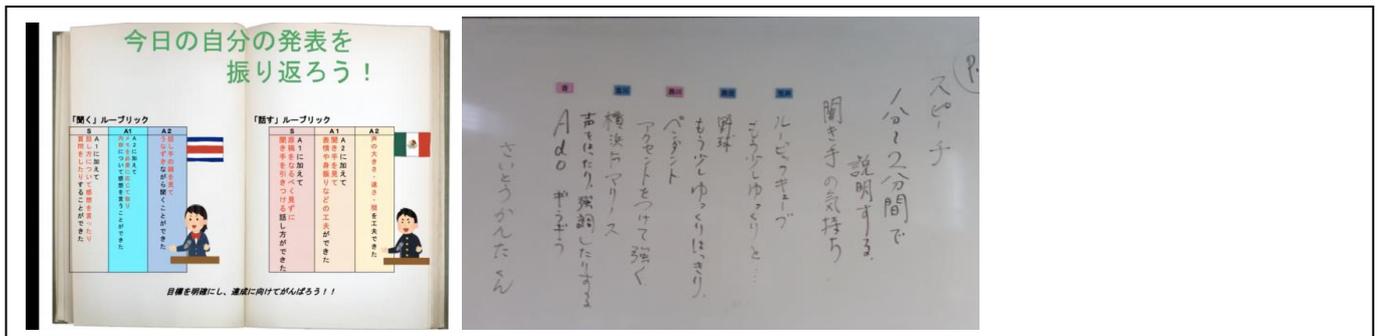
- ・聞き手を意識した話し方、聞き手を巻き込む話し方を実践する。
- ・適切な聞き方を実践する。

(2) 指導の経過

段階	時間	教師の活動(発問・指導の工夫) 児童・生徒の反応	児童・生徒の学習活動	資料等
導入	00	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れの説明 ・ルーブリックの説明 (自分たちで評価規準をつかって評価する) T「ルーブリックについての確認をしよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞く 1 話し手の評価規準を考える 2 聞き手の評価規準を考える 	スピーチの評価ルーブリック

展開	10	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ視聴 6名繰り返す (気づきを挙手で発表させる) T「〇〇さんのスピーチで良かった点は？」 C「〇〇さんの・・・がわかりやすかったです。」 ○肯定的評価を加える ○評価者の生徒の発言に対しても評価する 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチを視聴する 1 ルーブリックの記入 2 コメントを考える 	
まとめ	40	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分たちのルーブリックをつくってスピーチを聞いて、どう感じたかを確認する ・本時のふりかえり T「仲間の発表を聞いてどうだったか。」 「自分の発表は、納得いくものだったか。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手としての感想 ・評価者としての感想 	

(3) 板書計画



(4) 児童・生徒の様子

- ・全員が自分のスピーチを上手く行おうということに集中していた。
- ・話し手のことをよく見てスピーチの内容を聞き取っていた。

(5) 児童・生徒の振り返り

- ・原稿をあまり見ずに出来て良かった。聞く時もしっかり聞いて良かった。
- ・初めての国語の合同授業だったけど、いろいろな人のスピーチを聞いて、とてもいい時間を過ごせたと思います。
- ・ちょっと噛んでしまったところがあったけど練習よりできて緊張してても言えたのが気持ちよかったです。そしてサンホセとやってみて楽しいと思いました。
- ・自分のスピーチでは、伝えたいことを強く言ったり抑揚を付けられたけど、もう少しゆっくり言ったらよかったと思いました。聞くことでは、頷いたりしたけど、もう少し感想を言えばよかったと思いました。
- ・いろいろみんな違うことを話していてけっこうバリエーションがありました。
- ・とても緊張したけど、話し方や、聞き方を工夫できたので、良かったです。

① 成果

- ・ルーブリックで掲げた目標に向けて、話し方や聞き方を工夫することができた。
- ・同級生のスピーチや聞く姿に触れることで、それぞれの良さを感じられた。
- ・複数の同級生にスピーチを聞いてもらい、感想をもらうことで話すことや聞くことに自身がついた。

② 課題

- ・話し手と聞き手の両方のことを一度に考えることが困難な生徒がいたので、めあてがぼやけた。
- ・自分のスピーチの話し方に時間を割いてしまい、内容の構成に時間をかけていなかった。

③ 提案

- ・お互いの発表や作品等を視聴して、評価し合う活動は続けていくことで自信につながると感じた。
- ・オンラインならではの、その瞬間の反応や発言（つぶやき）等を見落とさないようにしたい。

(6) 教室レイアウト (ICT機器の配置)

